

## お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(8/29)

プレス等発表資料（8月29日(月) 午後3時00分）

### ●避難人員 291 人(集団避難を含む。)

町内 216 人(4 日前と変わらず)

※避難所(民家の避難箇所を除く。):3 箇所

町外 75 人(4 日前と変わらず)※避難所:15 箇所

計 291 人(4 日前と変わらず)※避難所:18 箇所

### ●昨日現在で

搬入遺体数 554 体(4 日前より 3 名増)

うち身元確認済み 465 体(4 日前より 5 名増)

### ●東日本大震災の影響による税の減収見込みについて

はじめに、東日本大震災の影響による町税の減収見込みについて、ご報告をさせていただきます。

町税減収見込額といたしましては、7 億円を見込んでおります。内訳としまして、個人町民税につきましては 2 億 3,000 万円の減収、法人町民税につきましては 3,000 万円の減収、固定資産税につきましては、本町の土地の約 60%、および家屋の約 70%が減免となったことにより、4 億 3,000 万円の減収、軽自動車税につきましては、4 輪軽自動車など約 2,000 台が被災したことにより、1,000 万円の減収の見込みとなっております。

今後も人的被害や失業などにより、町民の方々の収入の減少による減免申請が見込まれ、町税の減収額はさらに増加することが確実と考えられますので、最終的な今年度の町税の減収額は 8 億円に上るものと推定をしております。

本町の町税収入は、年間約 12 億円程(ほど)でありますので、今年度は、震災の影響により例年の 3 分の 1 程度まで落ち込むことと見込まれます。あらためて、震災の大きさ、被害の甚大さを痛感いたしておりますとともに、今後の行財政運営に非常に大きな影響を受ける結果となりました。

### ●住宅の応急修理制度について

本町では、東日本大震災により全壊、大規模半壊または半壊した住宅を対象に、一定の範囲内で応急修理を行う制度を実施しており、平成 23 年 9 月 30 日(金曜日)まで受付けを行っております。

応急修理の内容としましては、居室、炊事場、トイレなどの日常生活に欠くことのできない部分について、より緊急に修理を要する住宅を優先的に実施しております。対象世帯となる要件などの詳しい内容につきましては、9 月 1 日に発行します町の広報紙でお知らせをいたします。

町民の皆さまには、一日でも早い住宅の復旧のために、この制度をご利用いただければと思っております。

### ●「思い出探し隊」思い出の品展示所の閉所について

「思い出探し隊」および「自衛隊」の皆さまに、集めていただきました写真などの思い出の品を公開し、元の所有者の方にお返しする展示会を、旧入谷中学校校舎 2 階にて 6 月 17 日(金曜日)から開催をいたしておりました。その結果、大変多くの皆さまに大切な思い出の品をお返しすることができました。

この度、お返しする写真などに一定の見通しがつきましたので、展示所を閉所することとなりました。なお、残りの写真につきましては、デジタル化することにより、パソコンでご覧いただく作業をすすめております。区切りといたしまして、8 月 31 日(水曜日)午前 11:30 に、思い出の品展示所の閉所を行います。旧入谷中学校での展示につきましては、8 月 31 日(水曜日)午後 3:30 までとさせていただきます。

様々な思い出の品を探していただきましたボランティアの皆さまや自衛隊の皆さまには、心より感謝を申し上げます。

(質疑応答)

記者: 民主党新代表について

町長: スピード感をもって 3 次補正予算を成立していただき、各種復興事業が執行できる体制を早急にお願いしたいと考えております。

## お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(8/25)

プレス等発表資料（8月25日(木) 午後3時00分）

### ●避難人員 291 人(集団避難を含む。)

町内 216 人(3 日前より 1,202 名減)

※避難所(民家の避難箇所を除く。):3 箇所

町外 75 人(3 日前より 159 名減)※避難所:15 箇所

計 291 人(3 日前より 1,361 名減)※避難所:18 箇所

### ●昨日現在で

搬入遺体数 551 体(3 日前と変わらず。)

うち身元確認済み 460 体(3 日前と変わらず。)

### ●南三陸福興市の開催について

今回で 5 回目となる福興市についてお話をさせていただきます。

8 月 28 日(日曜日)午前 10 時から午後 2 時まで、スポーツ交流村の南側の多目的広場におきまして、福興市が開催されます。

毎回、町民の皆さまだけでなく町外からも沢山の方々にご来場いただいております。会場においては、今回も全国各地の特産物などが販売されるほか、特設ステージでは、多彩なプログラムが予定されており、南三陸町に賑わいを取り戻す一つのきっかけとして、多くの方々に認知されてきておりますので、皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひともご来場いただきますようお願い申し上げます。

なお、当日は駐車場が手狭なため、大変な混雑が予想されます。最寄りの駐車場からシャトルバスが運行されますので、ご利用いただきたいと思っております。

### ●日本赤十字社による無料バスの運行開始について

平成 23 年 8 月 19 日(金曜日)から、南三陸町と登米市を直接結ぶ無料バスが、日本赤十字社様のご支援により運行開始されております。

本町と登米市を結ぶ公共交通手段は、無料バスが運行されるまでの間、柳津を經由し複雑なバスの乗換えをしなければならない状況であり、移動時間も 2 時間から 3 時間を要し、住民の皆さまには大変ご不便をおかけしておりました。このご支援により、登米地域からの通学や、通院、買い物など、住民の方々の移動手段として、利用させていただいております。

日本赤十字社様の温かいご支援に深く感謝を申し上げます。

### ●本町内の小学校の 2 学期始業式について

志津川、戸倉、入谷、伊里前、名足の 5 つの小学校で、明日 8 月 26 日(金曜日)に始業式が行われます。

本町の復興には、子どもたちの笑顔が何より大切に欠かせないものの一つだと考えております。通常の学校生活には、まだ時間を必要としますが、今後も子どもたちの笑顔があふれる町づくりを目指し、本町の復興にしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

(質疑応答)

記者: 現在、最も避難者数の多い避難所はどこですか。

町長: 本町内にありますホテル観洋です。114名の皆さまが避難をされております。

## お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(8/22)

プレス等発表資料（8月22日(月) 午後4時00分）

### ●避難人員 1,652 人(集団避難を含む。)

町内 1,418 人(4 日前より 209 名減)

※避難所(民家の避難箇所を除く。):6 箇所

町外 234 人(4 日前より 142 名減)※避難所:26 箇所

計 1,652 人(4 日前より 351 名減)※避難所:32 箇所

### ●昨日現在で

搬入遺体数 551 体(4 日前と変わらず。)

うち身元確認済み 460 体(4 日前と変わらず。)

### ●臨時議会の開催について

【議案の再提案について】

8 月 12 日(金曜日)に開催をいたしました、第 8 回臨時議会においてご提案を行いました、戸倉地区の土地の取得に関する議案第 79 号につきまして、当該土地の取得後の利活用方策について、充分なご説明をさせていただいていないという理由から、撤回をいたしました。

本日、8 月 22 日(月曜日)に開催をいたしました、第 9 回臨時議会におきまして、取得後の土地利用方策について、居住ゾーン、公共施設ゾーン、福祉利用ゾーンなどへの土地利用計画図面および土地利用方針をお示しし、ご説明をすべく、再度、提案をさせていただきましたが、結果、特別委員会に付託となりました。

### ●「はまセン飛騨高山の湯」の閉所式について

本日、本町内の臨時入浴施設であります「浜セン飛騨高山の湯」の閉所式が開催されます。

本町よりの入浴施設設置依頼ついて、「NPO 法人 V ネットぎふ」および「NPO 法人サポートコミュニティ飛騨」の代表者川上(かわかみ)哲也(てつや)様が快くお引き受け下さり、「ボランティアセンターはまセン」のスタッフの皆さまには、平成 23 年 6 月 30 日から平成 23 年 8 月 22 日までの期間におきまして、入浴施設の運営に直接携わっていただきました。運営期間内には、のべ約 7,000 名の皆さまが、ご利用になられたとのことでもあります。

入浴施設運営には、大変なご苦勞があったものとご察いたします。設置、運営、解体まで長期に亘り、本町のためにご協力いただきました関係団体および個人ボランティアの皆さまがたのご厚意に心より感謝を申し上げます。

### ●栗原市のご支援について

平成 23 年 8 月 19 日(金曜日)に栗原市において行われました、「被災地支援プロジェクト関係団体会議」へ出席をさせていただきました。

栗原市へは、本町より平成 23 年 4 月 27 日(水曜日)の最大時におきまして、92 世帯、242 名の皆さまが避難をされておりました。

栗原市をはじめ、栗原市内の 30 を超える関係団体の皆さまが一丸となり、食事提供支援、物

資支援、就労支援など様々な心ある厚いご支援を行っていただき、本町の避難者の方々を支えていただいたことに、町民を代表してあらためてお礼を申し上げたいと思います。

●宮城県震災復興計画(最終案)について

平成23年8月17日開催の第5回宮城県震災復興本部会議におきまして、宮城県震災復興計画(最終案)が決定されました。

高台移転や職住分離の方針が最後まで堅持され、最終案におきまして盛り込まれたことは、大変重要な事だと思っております。

今後、国会にて編成される第3次補正予算におきましても、財政支援策を明確に明示していただきたいと考えております。

(質疑応答)

記者:お迎えセレモニーの今後の予定について

町長:先日、行われた鳴子温泉でのセレモニーで完了です。

記者:大崎市での現在、最も避難者の多い施設について

町長:大崎市の「農民の家」です。8月22日現在で、27名の皆さまが避難されていると確認しております。

## お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(8/18)

プレス等発表資料（8月18日(木) 午後4時00分）

### ●避難人員 2,003 人(集団避難を含む。)

町内 1,627 人(7 日前より 111 名減)

※避難所(民家の避難箇所を除く。):10 箇所

町外 376 人(7 日前より 53 名減)※避難所:42 箇所

計 2,003 人(7 日前より 164 名減)※避難所:52 箇所

### ●昨日現在で

搬入遺体数 551 体(7 日前と変わらず。)

うち身元確認済み 460 体(7 日前より 5 体増)

### ●ボランティアの皆さまのご支援について

ボランティアの皆さまには、本町の復旧・復興活動に大変厚いご支援ご尽力をいただいております。平成 23 年 3 月 26 日から平成 23 年 7 月 31 日までの期間におきまして、のべ 26,000 名にのぼる多くの皆さまが、ボランティアとして本町へ来ていただいております。

8 月 13 日(土曜日)から 8 月 15 日(月曜日)までのお盆期間中には、若者を中心に全国から 1 日当たり約 350 名、3 日間で 1000 名以上のボランティアの方々に、がれきの撤去作業や荒地(あれち)等の草刈り作業のお手伝いをさせていただきました。

皆さまには、大変暑い環境の中で、誠心誠意、作業をさせていただきましたことに心より感謝を申し上げます。

皆さまご承知のとおり、本町の被害が甚大でありますので、まだまだボランティアの方々のお力を必要としている状況が続いております。

これまでにご参加いただいた個人・団体・企業等の皆さま、また、今後本町でのボランティアをお考えの皆さまには、このような現状をご理解いただき、継続したご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

### ●町民お迎えセレモニーについて

震災後、宮城県大崎市の鳴子温泉に避難されておりました町内の皆さまが、このたび避難生活を終えられ、仮設住宅に入居いただくこととなりました。つきましては、8 月 19 日午前 10 時より、鳴子温泉の「仙庄館」におきまして、避難されておりました方々の、お迎えのセレモニーを開催いたします。

長期に亘る町民の皆さまの避難生活を支えていただきました大崎市をはじめとする多くの関係者の皆さまに心より御礼を申し上げます。

### ●東日本大震災復興構想会議議長の五百(いお)旗頭(きべ)氏来訪について

本日、東日本復興構想会議議長であり、防衛大学校長でもあられます五百旗頭 真氏が、本町へ視察にお見えになりました。

●来週の定例記者会見について

8月22日(月曜日)の定例記者会見につきましては、16:00を予定しておりますが、臨時議会及び特別委員会終了後となりますので、ご了解いただきますようお願いいたします。

(質疑応答)

記者: 鳴子温泉お迎えセレモニーの参加者について

町長: 約70名と担当課から聞いております。

記者: ボランティアの26,000名は民間の方も含んでいますか。

町長: 含んでおります。ボランティアセンターで把握している数字です。



## お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(8/11)

プレス等発表資料（8月11日(木) 午後3時00分）

### ●避難人員 2,167 人(集団避難を含む。)

町内 1,738 人(3 日前と変わらず)

※避難所(民家の避難箇所を除く.):15 箇所

町外 429 人(3 日前より 6 名減)※避難所:35 箇所

計 2,167 人(3 日前より 6 名減)※避難所:50 箇所

### ●昨日現在で

搬入遺体数 551 体(3 日前と変わらず。)

うち身元確認済み 455 体(3 日前と変わらず。)

### ●今日で震災後 5 カ月目になります

本日、8 月 11 日(木曜日)で、震災後 5 カ月となります。この 5 カ月の間は、時が経つのも早く感じ、季節も冬から春、夏へ、そして暦の上では秋となりました。

このたび、お盆までには、仮設住宅の整備が完了し、すべての方々の入居が可能となり、また、水道も全地区で飲用が可能となる見込みが立ちました。このことは、本町の復興が一步一步進んでいることと感じております。

町民の皆さまの声を聞きながら、震災復興計画の策定を行い、その基本理念である『自然・ひと・なりわいが紡ぐ安らぎと賑わいのあるまちづくり』を進め、復興を着実に成し遂げていくことが、私たちの使命であると強く考えております。

今年のお盆は、深い哀しみの思いを禁じ得ません。

震災でお亡くなりになられた方々の御霊に、心からの哀悼の誠を捧げるとともに、これまでご支援頂きました全国の皆さまに対し、改めて、心より御礼を申し上げます。

### ●臨時議会の開催について

#### 【議案及び補正予算について】

8 月 12 日(金曜日)に仮庁舎会議室において開催する臨時議会に上程する議案・補正予算の概要を発表します。

今回の議案の主なものは、災害弔慰金の支給対象遺族の範囲について変更を行う「災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定」や、「仮設魚市場建設工事」の工事請負契約、「財産の取得」を予定しております。

仮設魚市場建設については、本町の主力産業である水産業の本格的な復興への第一歩ととらえております。また、財産(土地)の取得に関しましては、高台移転を基軸とした、震災復興計画に供する目的と位置づけております。

補正予算の主なものについては、被災者生活支援センター運営事業等の「地域支え合い体制づくり事業」に係る委託料追加として 9,716 万円を計上しております。町民の皆さまのご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

●義援金の受付額について

8月10日現在、町で受付しました義援金の額が、6億2千673万円となっております。  
本当に多額の義援金を寄せて頂き、ご支援いただいた皆様へは、本当に感謝申し上げます。

●南三陸こども夢花火について

8月13日(土曜日)の午後6時から、「南三陸こども夢花火」が開催されます。なお、町民の皆さまの観覧場所は、志津川高校・志津川中学校・小学校、大森地区高台、はまゆり大橋付近となっております。

「南三陸こども夢花火」が、子どもたちに希望を持って前に進むことの大切さや、諦めない心の強さを伝えていくとともに、震災でお亡くなりになられた方への鎮魂と、復興への希望の光となることを祈念しております。

●来週の定例記者会見について

来週の定例記者会見につきましては、来週の週明けは、お盆ということもあり、8月18日(木曜日)の1回とさせていただきます。

場所は、ここ町長室、時間は15:00からとなりますのでよろしくお願いします。

## お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(8/8)

プレス等発表資料（8月8日(月) 午後3時00分）

### ● 避難人員 2,173 人(集団避難を含む。)

町内 1,738 人(3 日前より 89 名減)

※避難所(民家の避難箇所を除く。):15 箇所

町外 435 人(3 日前より 5 名減)※避難所:35 箇所

計 2,173(3 日前より 94 名減)※避難所:50 箇所

### ● 昨日現在で

搬入遺体数 551 体(3 日前より 1 体増)

うち身元確認済み 455 体(3 日前より変わらず)

### ● 震災復興計画の策定について

昨日、第 3 回震災復興計画策定会議を開催し、地域懇談会で出された、町民の皆さまの貴重なご意見を踏まえ、各方面に係る有識者の方々の専門的なご意見を頂きながら審議を行いました。

委員の皆さまにおかれましては、活発なご意見等を頂き、誠にありがとうございました。今後、復興町民会議や策定会議を重ね、9 月までに震災復興計画の策定を行っていきます。

なお、先日晒された、政府の復興基本方針では、高台移転について明記がされていないところではありますが、本町においては、被災した地域の実情、被災された町民の皆さまの想いを踏まえながら、職住分離を基本とした「高台移転」を念頭において、検討を重ねております。

政府におかれましては、被災した地域の実情を十分に汲み取っていただき、第 3 次補正予算の編成を、早急に進めていただきたいと思いますと思っております。

### ● 仮設住宅の入居について

仮設住宅に関しましては、約 2,000 戸という膨大な数を整備しなければならないということもあり、長期に渡る対応となっております。この間、町民の皆さまには、我慢、ご不便をお掛けしておりましたが、ようやくお盆前後には、仮設住宅の整備が完了し、すべての方々の入居が可能となる見込みです。

なお、これに伴い、避難所は 8 月末で閉鎖することといたしております。

町民の皆さまには、長期にわたり、困難な生活を続けられてきたと思っております。

### ● 子どもたちの研修事業について

8 月 4 日(木曜日)から 12 日(金曜日)まで、「本別・南三陸ふるさと交流研修会及びジュニアリーダー研修会」に、本町から中学生 12 名、高校生 5 名、計 17 名の生徒が参加し、北海道本別町で自然体験活動を実施しております。本別町との交流は、昭和 59 年に交流事業をスタートしてから、現在に至るまで脈々と続いており、本町にとりましても、かけがえのない事業であります。また、今回の震災により、4 月から本別町の職員が、職員派遣で役場業務を支えて頂くとともに、第

4回の福興市では、ジンギスカンなどを振舞って頂きました。本別町の皆さまには、温かいご支援を頂き、心より感謝を申し上げます。

なお、8月9日(火曜日)から11日(木曜日)にかけて、本町の友好町である山形県庄内町において開催される「庄内町・南三陸町小学生ふるさと交流会」に町内の48名の小・中・高校生が参加します。また、11日(木曜日)、12日(金曜日)の2日間、兵庫県西宮市野球協会様のご厚意により、「夏の全国高校野球甲子園大会」に町内の小学生と保護者あわせて63名が招待されることとなりました。

これらの様々な交流会や研修が、町の将来を託す子どもたちの将来の糧となることを期待しております。

#### ●震災で犠牲になられた方々を追悼する集会について

震災発災以来、8月11日で5ヶ月目となります。

毎月11日に開催されていた、震災で犠牲になられた方々を追悼する集会「南三陸の海に思いを届けよう」が、今月11日(木曜日)午後2時30分から「サンオーレそではま」で開催されます。今回の集会では、震災で犠牲になられた方々に黙祷を捧げるとともに、鎮魂のため、私たちが育んできた海が見える場所で、声楽とギターの演奏が行われるとのことでもあります。なお、この催しは、町民の皆さまが避難しておられる町外の3会場にも中継されるほか、インターネットによる中継も行われるとのことでもあります。

また、同日から16日(火曜日)まで、この仮庁舎の下広場において、全国の皆さまが町を支援するために作って頂きました「きりこ」の展示も行われるとのことでもあります。

#### ●母校・仙台商業高校の皆さんによるご厚意について

先月の記者発表でもご案内致しましたが、6月11日に仙台市内において、私の母校であります仙台市立仙台商業高等学校の生徒の皆さんが、清涼飲料メーカーと共同・提携をして開発した「仙臺(せんたい)サイダー」を販売し、その売上金を本町に義援金として寄附をいただくこととなりました。そのお越し頂く日時が、8月9日(火曜日)の午後3時30分となりましたのでお知らせをいたします。

仙台商業高等学校の皆さまのご厚意に、心より感謝を申し上げます。

(質疑応答)

記者:本日より瓦礫の搬出が始まったが、経緯について教えてください

町長:瓦礫の2次仮置き場は、県の斡旋としておりましたが、調整が苦慮していることを踏まえ、また、気仙沼市の負担を軽減したいとの思いもあり、青森県三戸町のご厚意もあり、搬出をすることとしました。

## お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(8/5)

プレス等発表資料（8月5日(金) 午後3時00分）

### ● 避難人員 2,267 人(集団避難を含む。)

町内 1,827 人(3 日前より 7 名減)

※避難所(民家の避難箇所を除く。):15 箇所

町外 440 人(3 日前より 216 名減)※避難所:35 箇所

計 2,267 人(3 日前より 223 名減)※避難所:50 箇所

### ● 昨日現在で

搬入遺体数 550 体(3 日前より変わらず。)

うち身元確認済み 455 体(3 日前より 1 体増)

### ● 第 3 回震災復興計画策定会議の開催について

8 月 7 日(日)の午後 1 時から、仮庁舎会議棟におきまして、第 3 回震災復興計画策定会議を行います。

先週 1 週間、復興町民会議「地域懇談会」を各地区で開催し、町民の皆さまの貴重なご意見をいただきました。

町といたしましては、これらのご意見を踏まえまして、震災復興計画を策定していくこととしております。新しいまちづくりの礎(いしずえ)となるものですから、迅速に取り組み、9 月には、この計画を策定したいと考えております。

### ● 水道の復旧状況について

水道の復旧状況につきましては、町内のほぼ全域の通水が完了し、現在は、戸倉及び清水浜地区の一部地域の通水作業を実施しております。また、歌津地区及び戸倉地区の飲用につきましても、水質検査等の結果、全ての水質基準をクリアしたことから、8 月 1 日から一部を除き飲用が可能となり、復旧率は全町で 99%となりました。

地区別におきましては、志津川・入谷地区において、通水している地区は、全て飲用が可能となっております。なお、清水浜地区の一部通水していない箇所については、現在、仮設管による通水作業を実施しております。また、歌津地区は全地区の通水が完了し、草木沢地区を除き飲用が可能です。なお、草木沢地区は、現在、管路の敷設工事を進めており、今月中旬には飲用が可能となる予定です。また、戸倉地区においては、浄水場から東側の地区(神割方面)は飲用が可能で、西側の折立・西戸地区については、飲用が可能となる時期は今月中旬を予定しております。

町民の皆様には、震災後、大変なご不便とご迷惑をおかけしておりますが、完全復旧まで、いましばらくお待ち頂ければと思っております。

### ● 第 2 回自立支援米の提供を行っております。

自立支援米の第 2 回目の提供について、8 月 16 日(火曜日)(土曜・日曜日は除く)まで、ベイ

サイドアリーナにて受付を行っております。なお、受付の際は、り災証明書をご持参下さい。

自立支援米提供の対象となる方は、3月11日時点で、南三陸町にお住まいであった方のうち、住宅が全壊、大規模半壊及び半壊した世帯です。なお、1回目の支援米の受け取りをされた世帯も対象となります。

支援物資を提供していただきました全国の皆様に対し、改めて感謝を申し上げますとともに、心より御礼を申し上げます。

#### ●「地球歌の日」のイベント開催について

毎年8月8日は、世界に平和と美しい環境を守ることの大切さを呼びかける「地球歌の日」とされており、今年は、南三陸ホテル観洋の特設ステージでイベントが開催される運びとなりましたのでお知らせいたします。なお、このイベントには、宮城県夢大使であります生島ヒロシさん、南三陸町夢大使のまきのめぐみさんも出演されるとのことあります。

未曾有の震災から、徐々に復興に向けて歩み出した中で、このイベントが、この美しい自然環境について考えるひとつのきっかけとなることを祈念しております。

#### ●来週の定例記者会見について

来週の定例記者会見につきましては、8月8日(月曜日)と8月11日(木曜日)に行います。

場所は、ここ町長室、時間は15:00からとなりますのでよろしくお願いします。

(質疑応答)

記者:三陸縦貫自動車道の見通しについて

町長:今回の震災で、自動車道の重要性を認識致しました。全線開通に向け、前倒して実施して頂ければと思います。なお、仙台東部道路が避難路となった経緯を考えると、階段等を設置など、配慮を頂けたらと思います。

## お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(8/2)

プレス等発表資料（8月2日(火)午後3時00分）

### ● 避難人員 2,490 人(集団避難を含む。)

町内 1,834 人(7 日前より 24 名減)

※避難所(民家の避難箇所を除く.):16 箇所

町外 656 人(7 日前より 8 名減)※避難所:43 箇所

計 2,490 人(7 日前より 32 名減)※避難所:59 箇所

### ● 昨日現在で

搬入遺体数 550 体(7 日前より 1 体増)

うち身元確認済み 454 体(7 日前より 2 体増)

### ●南三陸町復興町民会議「地域懇談会」を終えて

「南三陸町震災復興計画」を策定するにあたり、今後の集落の再生や土地利用などについて計画に反映させるため、7月25日(月)から7月31日(日)にかけて復興町民会議「地域懇談会」を町内外23会場で開催を致しました。町民の皆さまにおかれましては、多数のご参加をいただきありがとうございました。

なお、今後の震災復興計画の策定にあたりまして、懇談会で出されました貴重な意見等を計画の中に反映させていきたいと考えております。

### ●旧鱒淵小学校避難町民お迎えセレモニーについて

震災後、登米市の旧鱒淵小学校に避難されておりました中瀬町行政区の皆さまが、このたび避難生活を終わられ、地元の仮設住宅に入居頂くこととなりました。つきましては、8月4日(木曜日)午前10時より旧鱒淵小学校において、お迎えのセレモニーを開催いたします。

長きに渡る町民の皆さまの避難生活を支えて頂きました登米市をはじめとする関係者の皆さまに心より御礼を申し上げます。

### ●自衛隊の撤収セレモニーについて

本町の復旧・復興活動に大変なご尽力を頂きました陸上自衛隊第6師団第22普通科連隊の皆様が、このたび任務を終え撤収することとなりました。つきましては、8月5日(金曜日)午前11時から、スポーツ交流村多目的広場において、撤収セレモニーを執り行いますのでお知らせ致します。

第22普通科連隊におかれましては、行方不明者の方々の捜索や支援物資の搬入、あるいは、給水や入浴等の生活支援にいたるまでの幅広い活動を行っていただき、被災された町民に献身的で心温まる支援を頂きました。

本町が力強い復興を成し遂げることが、支援活動をいただいた隊員の皆様へのご恩返しと考えております。町民を代表し、改めて心より御礼申し上げます。

## ●政府の復興基本方針について

7月29日に政府から「復興基本方針」が示されましたので、被災地の自治体の長として、その感想等をお話させていただきます。

現在、本町において、町民の皆様の意見等を踏まえながら、復興基本計画を策定しているところでございますが、「新たなまちづくりの原点」として、職住分離を基本とした「集落の高台移転」を検討しております。今回示された基本方針には、復興構想会議による「復興への提言」に盛り込まれていた「高台移転」や、総理が検討を表明しておりました、被災した土地を国が買い上げることなどが明記されておられません。この点について、被災地の実情や被災された皆さまの思いを、政府がしっかりと受け止めて頂けているのか甚だ疑問に思っております。今後編成される第3次補正予算には、被災地の実情に即した形での復興支援メニュー及び財政支援策を明確に明示して頂きたいと考えております。

## ●水の週間「水を考えるつどい」について

昨日、東京の科学技術館サイエンスホールにて開催された第35回水の週間「水を考えるつどい」に、皇太子殿下ご臨席のもと、本町の東日本大震災における被災状況及び水道事業の復旧に向けた取り組み等を報告してまいりました。

皇太子殿下におかれましては、本町の復旧・復興への取り組みを、御熱心に傾聴して頂きました。また、お二人でお言葉を交わすお時間を設けられ、本町民に対し、お見舞のお言葉と励ましのお言葉を賜りました。

皇太子殿下のお心づかいに大変感謝をいたしております。

## (質疑応答)

記者：旧鱒淵小学校避難町民のお迎えセレモニーについて

町長：旧鱒淵小学校へ赴きまして、セレモニーを行います。

記者：町民懇談会に出されました意見について

町長：高台移転の必要性についての共通認識として感じました。

また、御年配の方に多かった意見ですが、新しく家を建てることは難しいので公共住宅を建てて欲しいという意見もありました。町民の皆さまから出されました貴重なご意見は、復興計画策定会議の中で反映されていくことと考えられます。

記者：復興基本方針について

町長：「高台移転」については「防災集団移転促進事業」として行うとの説明があったものの、復興構想会議で提言されたことをきちんと明記するのが筋であると考えます。